

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成24年8月8日

上場取引所 大

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO)

(氏名) 関根 純

問合せ先責任者(役職名) 人事・管理統括オフィサー

(氏名) 荻野 博夫

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,247	9.7	2,774	24.0	2,823	22.9	1,503	19.5
24年3月期第1四半期	25,751	2.3	2,236	8.1	2,297	5.6	1,258	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1,046.00	1,042.83
24年3月期第1四半期	877.61	874.43

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	56,585	37,755	66.7	26,254.47
24年3月期	57,894	37,111	64.1	25,848.48

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,755百万円 24年3月期 37,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		0.00		600.00	600.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		0.00		800.00	800.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,950	7.1	5,250	4.1	5,300	2.7	2,900	2.6	2,016.60
通期	113,400	5.2	8,700	11.6	8,750	8.6	4,600	19.6	3,198.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	1,438,065 株	24年3月期	1,435,719 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

25年3月期1Q		24年3月期	
----------	--	--------	--

期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	1,437,052 株	24年3月期1Q	1,433,587 株
----------	-------------	----------	-------------

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成24年5月10日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正していません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧州における債務問題などによる不確実性があったものの、設備投資の増加や個人の消費マインドの改善に東日本大震災からの復興需要が相俟って、緩やかな持ち直しの基調にありました。

しかし、夏の電力問題や円高の進行等により先行きは未だ不透明であり、経済情勢は本格的な回復には至ってありません。

このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、ビバレッジでは「チョコレート クッキー クランブル フラペチーノ® with ホワイトチョコレート プディング」や「ソイ ストロベリー クリーム フラペチーノ®」などが、フードでは「グレインプレッド バジルチキン&シーザーサラダ」「ミックスベリーケーキ」「パニラシフォンケーキ」などが好評いただきました。

店舗展開につきましては、都会で自然の心地よさを感じることができる「東急プラザ 表参道原宿店」、都内初の公園内店舗となった「上野恩賜公園店」、東京の新しいランドマークとして注目される東京スカイツリータウン内に「東京スカイツリー・ソラマチ東6階店」と「東京スカイツリー・ソラマチ西1階店」などを出店いたしました。15店舗の新規出店(うちライセンス1店舗)、4店舗の退店(いずれも直営店)を行った結果、当第1四半期累計期間末における店舗数は966店舗(うちライセンス40店舗)となりました。

以上の活動の結果、売上高は28,247百万円(前年同期比9.7%増)となりました。取引件数が順調に推移した結果、既存店売上高は対前年同期比103.9%となりました。また、継続的な新規出店により全体でも増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりであります。

	月	4月	5月	6月	累計
既存店 対前年同期比	売上高	106.8%	102.0%	103.2%	103.9%
	取引件数	106.1%	102.8%	103.1%	103.9%
	客単価	100.7%	99.2%	100.1%	100.0%

売上総利益は20,928百万円(同9.3%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,782百万円の増益となり、売上総利益率は74.1%(同0.2ポイント減)となりました。これは売上原価に関しまして、原材料の価格高騰による原価率の上昇等によるものであります。

営業利益は2,774百万円(同24.0%増)と、前年同四半期累計期間に比べて537百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費率が64.3%(同1.4ポイント減)となったことによるものであります。

経常利益は2,823百万円(同22.9%増)と、前年同四半期累計期間に比べて526百万円の増益、四半期純利益は1,503百万円(同19.5%増)と、前年同四半期累計期間に比べて245百万円の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1,309百万円減少して56,585百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて1,747百万円減少いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いなどにより現金及び預金が2,099百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて437百万円増加いたしました。これは、主に新規出店及び既存店の改装のための投資により有形固定資産が258百万円増加したことによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて1,954百万円減少いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いに伴う減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて2,099百万円減少し、12,702百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、504百万円(前年同期差1,653百万円減)となりました。これは、主に法人税等の支払いが1,618百万円増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、1,894百万円(同573百万円増)となりました。これは、主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得による支出が537百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、709百万円(同75百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき500円から600円へと100円増加したことによるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月10日発表の業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

税金費用につきましては、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産につきましては、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ20百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,801	12,702
売掛金	3,698	3,832
商品及び製品	662	713
原材料及び貯蔵品	1,539	1,795
その他	4,055	3,965
貸倒引当金	29	29
流動資産合計	24,727	22,980
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,041	8,019
その他(純額)	3,908	4,189
有形固定資産合計	11,950	12,208
無形固定資産		
	1,018	1,031
投資その他の資産		
差入保証金	16,508	16,675
その他	3,782	3,781
貸倒引当金	92	92
投資その他の資産合計	20,198	20,364
固定資産合計	33,167	33,604
資産合計	57,894	56,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,645	2,259
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	61	61
未払法人税等	2,884	1,148
賞与引当金	-	170
その他	10,981	10,961
流動負債合計	16,772	14,802
固定負債		
長期借入金	40	40
役員退職慰労引当金	22	22
資産除去債務	3,925	3,930
その他	22	33
固定負債合計	4,010	4,027
負債合計	20,783	18,829

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,471	8,503
資本剰余金	11,047	11,078
利益剰余金	17,574	18,215
株主資本合計	37,093	37,797
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	18	41
評価・換算差額等合計	18	41
純資産合計	37,111	37,755
負債純資産合計	57,894	56,585

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	25,751	28,247
売上原価	6,605	7,318
売上総利益	19,145	20,928
販売費及び一般管理費	16,909	18,154
営業利益	2,236	2,774
営業外収益		
受取利息	1	3
為替差益	7	14
プリペイドカード失効益	35	19
その他	27	17
営業外収益合計	70	54
営業外費用		
支払利息	1	0
支払補償費	-	3
その他	8	1
営業外費用合計	10	5
経常利益	2,297	2,823
特別利益		
店舗閉鎖損失戻入益	1	3
退移店補償金	39	-
震災関連費用引当金戻入益	15	-
その他	0	-
特別利益合計	56	3
特別損失		
減損損失	105	91
固定資産除却損	9	44
本社移転費用	-	133
その他	1	2
特別損失合計	116	271
税引前四半期純利益	2,237	2,555
法人税等	978	1,051
四半期純利益	1,258	1,503

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,237	2,555
減価償却費	904	971
減損損失	105	91
引当金の増減額(は減少)	74	171
受取利息及び受取配当金	1	3
支払利息	1	0
固定資産除却損	10	46
本社移転費用	-	133
売上債権の増減額(は増加)	384	134
たな卸資産の増減額(は増加)	159	307
仕入債務の増減額(は減少)	270	385
その他	599	259
小計	3,436	3,398
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	0	0
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	200	200
法人税等の支払額	1,079	2,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,157	504
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,172	1,709
無形固定資産の取得による支出	103	160
資産除去債務の履行による支出	4	25
差入保証金の差入による支出	219	273
差入保証金の回収による収入	182	274
その他	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,321	1,894
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	3	62
配当金の支払額	636	771
財務活動によるキャッシュ・フロー	633	709
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	202	2,099
現金及び現金同等物の期首残高	9,427	14,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,630	12,702

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第1四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ピバレッジ	21,675	76.7	111.0
フード	4,111	14.6	108.3
コーヒー豆	992	3.5	95.9
コーヒー器具等	874	3.1	98.6
店舗販売計	27,653	97.9	109.5
その他	593	2.1	117.3
合計	28,247	100.0	109.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。